

伊陸夢プランだより

第24号
令和5年7月27日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

「柳井市防災研修会」が開催されました。《6月1日・3日》

この研修会は、自治会長、自主防災組織会長に案内が出され、2日間で計4回行われた研修会には、64団体、89名の方が参加されました。研修会は、防災士1名を含む4～5名のグループで、ワークショップ形式で行われました。

- 災害想定
- ・午前3時30分に震度6弱の地震が発生
 - ・津波警報発令
 - ・強い余震も続く

グループで考える内容

- ・3分後、あなた自身または、自治会長として何をしているか？
- ・1時間後、あなた自身または、自治会長として何をしているか？
- ・自分の自治会から犠牲者が出た。1週間前に戻れるなら何をしておくか？

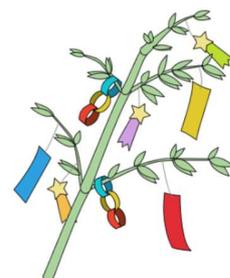
上記のような内容で行われた約1時間半の研修会でしたが、様々な地域の方の意見や他の自治会の取り組みを聞くこと、また防災士の的確な助言などもあり、大変有意義な時間だったようです。

この研修会に参加された錦自治会の会長、副会長さんは、研修会の内容を自治会で共有することが大切と考えられ、自治会の臨時総会に合わせて、柳井市危機管理課の「出前講座」を開催されました。「出前講座」では、いざという時の行動や、災害に備えた準備など具体的な話があり、防災への意識付けに大いに役立ったようです。

錦自治会では、今まで連絡網が無く連絡先が分からない状態でしたが、班ごとに情報収集を行い、自治会長が管理する仕組みを作られました。まさしくこれも、「防災」への取り組みだと言えます。

「防災」の取組方法は千差万別です。人や地域が違えば当然、方法も変わってきます。また、月日が経てば改善すべき点も見えてくるかもしれません。

今の自分たちにできる事を考え、実行に移す事が大切だと考えます。「何から始めればいいのか分からない。」という事も多いでしょう。伊陸公民館まで、お気軽にご相談ください。



○2023年の夏は、スーパーエルニーニョ現象に警戒が必要です。

気象庁によると、8月までにエルニーニョ現象が80%の確率で発生されると予想されています。過去最大級のエルニーニョだった1997年～1998年のレベルに近づくとされています。

エルニーニョは、世界中の異常な天候の要因の一つとされ、天候不順になりやすく、豪雨災害が発生するリスクが高まり、夏の時期にも台風が接近しやすくなります。6月末から7月初旬にかけて、豪雨が2週続いたのもその影響かもしれません。

豪雨や台風は、天気予報などである程度の予測が立ちます。どのタイミングで、どのような行動を取るかなど、自分なりにシミュレーションしてみると、いざという時に慌てなくて済むかもしれません。

例えば、6月30日の豪雨時のように、急な天候の悪化により夜間に避難指示が出る場合もあります。その場合、夜間に出歩くより自宅待機の方が安全な場合もあります。

- ・自宅避難の場合、危険個所から、より離れた場所に避難する。(2階や、山側から1番離れた部屋など)
- ・いざという時に、すぐに行動できるように動きやすい服装で就寝する
- ・靴を枕元に置いておく
- ・より安全なご近所の方に集まるなど、早め早めの行動を取る

このように、自分でできる事、ご近所同士でできる事を、普段からご近所同士で話し合っておくと安心です。

「自主避難所」とは…市の判断により、一時的に開放される避難場所。市からの公的支援はありませんので、避難中の食事や生活必需品(着替え、寝具など)は、自身で準備します。

「避難所」とは…市の判断により、警戒レベル4「避難指示」が発令された時に避難する場所。(既に「自主避難所」が開設している場合は、「避難所」に切り替わる。)必要に応じて、市からの公的支援が(食事、寝具など)あります。

※「自主避難所」等の開設情報は、防災メールなどで確認できます。

防災行政無線が聞こえない時は、**【自動応答】23-6400**で、放送内容を聞くことができます。



○伊陸地区コミュニティ協議会の公式 LINE に登録しよう！

地域の行事や害獣情報、ゴミの収集情報、災害情報などを受け取ることができます。

地域の皆さんで、様々な情報を共有し、いざという時に、地域全体で助け合うことができる「安心・安全な地域」を目指したいと考えています。

皆様のご理解、ご協力をお願い致します。



公式 LINE QRコード